

みんなで 上子隣保館保育園の園児たち

地域包括支援センター地域に根ざす、

心づかいがうれしい職員の温かな

母子生活支援施設

板橋区立

頼もしい仲間たち

地域の未来をつなげたい施設の未来と

王子を歩く 歴史に触れながら 歩く王子の街 いつも新しい 出会いが楽しい 子ども食堂

小泉和子先生小泉和子先生

王子隣保館保育園がある街

開園100年。 おび続けて おび続けて 保館保育 園子 降保館保育園

結ぼう、きずな

ひとの「きずな」が結び直さ した。一度は切れかかった人と ポーツ大会なども復活しま 各地でお祭りやイベント、ス らしに戻ろうとしています。 社会はようやくいつもの暮 れつつあるのだと思います。 数年にわたるコロナ禍を経て、

そして職員同士のつな のみなさまとの交わり、 地域との関わり、利用者 歩を刻み始めています。 ネルを抜けて、新たな一 私たち協会も長いトン がりも蘇りました。

> り地域に溶け込んでいます。 る八王子の「子ども食堂」はすっか なりました。今年で2年目を迎え 援センターの活動もさらに活発に した。赤羽北と浮間の地域包括支 域と家族をつなぐ行事が復活しま 立母子生活支援施設では親と子、地 年、100周年を迎えます。板橋区 王子隣保館保育園は長きにわたっ て地域とのきずなを結び続け、今

子隣保館保育園のように。 今年、100周年を迎える王 果実となって帰ってきます。 とりの小さなつながり、細 割があると思います。一人ひ ずなを結ぶことに大きな役 私たち協会は人とひとのき いきずながやがては大きな

さあ結ぼう、新たなきずなを。

Oji Rinpokan Hoikuen

真っ先に 先人たちの奮闘 1 9 2 3 何よりも子どもたちのことを第一に考えた 大変な災害時に 協会は特に 関 東大震災 保 年 育事 - にまで 被害の大きか が関 ぶりがし ありなが 業に取り組みました。 Z 東 か 0 のばれるとともに、 った王子にいち早く隣保館 円を襲った年として記憶され ぼります。 を開

王子隣保館

保育園

の始

まり

る大正

12

年

設

もたち一人ひとりに向き合い つのきずなを結び続けて

その流れをくむ私たちの誇りでもあります。

Anniversary 震災から約1年 王子隣保館として正式にス 後 0 1 9 2 4 ター 年 1 (大正13年)。 するのは、

今からちょうど1

0

0

年

前

に当たります。

翁も駆

け

つ

け

開館式 祝辞を述べ K は たと記録され 万円 札 0 顔 7 にもなったあの渋沢栄一 います。

1

館から 1 00年。

100th 多くの 今もなお保育事業を通して地域に根ざした活動を続けています。 事 社会のニー 業が役目を終える中にあって、 ズに応えて、 々の救済事業を手掛 けた協 会です

が

★ 王子隣保館保育園

街を愛し、街に愛されて、今日も

今年、開園100年を迎える王子隣保館保育園を訪ねました。 王子駅から飛鳥山の緑を背に7~8分。

大通りを一歩入ったところで目に飛び込んできたのは、

園庭に泳ぐ数匹の大きな鯉のぼり。

建物は変わっているけれど、

長く子供たちの成長を見守ってきた王子隣保館保育園です。 今年4月に新しく就任したばかりの落合園長、

保育士の江川さん、川谷内さん、

そして栄養士の山田さんが出迎えてくれました。

広いエントランスには5月の節句の飾り。

園内は決して新しくはないけれど、

どこかホッとする居心地の良さを感じさせてくれるのは、

積み重なった歴史の証しでしょうか。



みんなで育てたプチトマトを収穫する園児たち

地域に支えられ、 ともに育ってきた保育園

落合園長は開口一番、王子隣保館保育園のことを「地域に根ざした保育園」と表現してくれました。園の近くで生まれ育った園長も、実はこの園の卒園生。保護者の中にも卒園生が多い。祖父、祖母から数えて3代目という園児もいる。もちろん、保育士の中にも卒園生がいます。まさに「地域とともに育ってきた保育園」ですが、住みやすいに違いない王子という街の"ぬくもり"も感じ取ることができます。

当然ですが、町会など地域との交流も盛んです。毎年2月、園の年女、年男が地元の有志と一緒に王子地区の保育園や幼稚園を回って「豆まき」をします。鬼に扮した消防士や警察官もやってくる。落合園長は大みで割られる「王子狐の行事で知られる「王子狐の行列」の実行委員を務め、お囃子やきつねのメークを担当していると言うで地域との関わりの深さを感じさせてくれるエピソードの数々。周りに王文えられ、住民とともに育ってきた王子隣保館保育園ならではの魅力ではないでしょうか。

子どもたちの 主体性を大切に

園が最も大切にしているのは「子 どもたちが主体的に生活できる」こ と。例えば、保育士がいろいろな遊 びを提案し、その中から子どもたち



保育士がある。

通っていた幼稚園の先生の歌が大好きだったことから、子どもに関する仕事がしたいと新卒で入職して、今年で3年目。今、学生時代に経験した実習よりも何倍も難しさを感じていると言う。ことに、子どもたち一人ひとりの特性を見つけて対応することや保護者への関わり方が難しい、と。

しかし、絵を描くことや歌うことが大好きな川谷内さん。「明るくて楽しい保育士になりたい」と、しっかり前を向いて歩いています。



栄養士 山田瑞記さん

新卒で調理士として汐入とちのき保育園に入職。その後、栄養士の資格を取得した山田さんは王子隣保館保育園へ。小さなころは好き嫌いが多く、給食には嫌な思い出しかない。今は食ることが何より大好きだが、小さなころからの食環境が大切だと身をもって感じていると言う。だから、子どもたちの食事に対するストレスを無くしたい。「食べることは楽しい」と感じてほしい。園で収穫した野菜を使った調理保育にも積極的に取り組んでいる。



保育士江川直子さん

福島県会津若松に生まれた江川さん。 短期大学を卒業して王子隣保館保育園 に入職しました。以来、3人のお子さん を育てながら40年。「親になって保育 観が変わった」と言います。若いころは 学校で習った通りに対応していたが、子 どもを持って初めてその通りに行かない ことを学んだ、と。だから、集団ではな く目の前の子ども一人ひとりを見るよう にしている。

今、成長して親になった卒園生の姿を見るのが何よりも楽しく、うれしい。

が自分で選んで、自由に遊ぶ。だから、保育士もいるいるな引出しを持ってほしいと、落合園長。一方、遊んでいる子どもが食事の時間までに気持ちを整理できるようにしてあげるなど、一人ひとりのペースを配慮した保



園長の落合直美先生

育も心掛けています。ただ単に「時間を守る」ことだけを押し付けない。 保育士の江川さんも「目の前の子ども一人ひとりを見ることを大事にしている」と言います。子どもたちがのびのびと、家にいるみたいにリラックスして過ごしているように見えたのは、 保育士たちのこのような心配りがあるからなのだろう。

園では子どもたちに自然を感じてもらうことも大切にしています。ミニ菜園では白菜やトマト、大根などの野菜やイチゴ、メロンなどの果物をみんなで育て、収穫体験をしています。桃やミカン、サクランボなど、実のなる木もいっぱい。自分たちが育てたカブなどの野菜を使った調理保育にも取り組んでいます。「食べることを楽しんでほしい」と、栄養士の山田さん。手作りの食事は、子どもたちはもとより保護者にも大変好評だとか。「おいしい」で子どもの成長を支える王子隣保館保育園です。



鯉のぼりが泳ぐ王子隣保館保育園

従来の「指導型」から、子ども主体の保育へ大きく変わった中で、「子どもの視野を持ちながらも、保育士一人ひとりが自らの個性を生かして子どもたちに接してもらいたい」と落合園長。失敗もあるけれど多くの経験を重ねて「素敵な保育士さんになってほしい」、と。

卒園した子どもたちが学童に行く 途中に寄ってくれるという王子隣保 館保育園。次の100年に向けた変わ らない毎日が、今日も続いています。

HISTORY

『東京都福祉事業協会75年史』から

地域に欠かせない存在として 愛され続けてきた王子隣保館。 保育事業が今年、 100周年を迎えました。



関東大震災をきっかけた 生まれた王子隣保館

1923年、大正12年に関東一円を襲った関東大震災。東京市に隣接する郡市町村のうち、工場、住宅などの倒壊による被害の最も大きかったのが今の王子、当時の王子町でした。

東京府は大震災寄付金の大部分を 当協会に交付。隣保施設を急設するこ ととなり、この中で最も応急的施設と して建設を急いだのが王子隣保館です。

王子町の好意により無償貸与された王子尋常高等小学校の一部に組立バラック二棟を設置し、「粗造急設」の王子隣保館が開設されたのは、1923年(大正12年)12月10日でした。まずバラック一棟を用いて託児所を開始し、もう一棟で職業紹介所を開設。さらに隣保館構内に診療所を新築し、本格的な診療事業も開始しました。

「王子隣保館」として正式に発足した のは1924年(大正13年)10月1日です。 開館式には当時の協会顧問であり新



1973年(昭和48年)ごろの王子隣保館保育園



今と変わらない元気いっぱいの園児たち(1973年・昭和48年の園内の様子)

1万円札の顔となった渋沢栄一翁などから祝辞があり、児童を中心とした祝賀会も盛会であったということです。

王子隣保館が 真っ先に行った保育事業

王子隣保館が一番最初に実施したのは保育事業でした。当初、定員80人、3歳から7歳、保育時間は午前7時半から午後4時まで。保育料は月1円で間食代が50銭と決められていましたが、事情により免除することもありました。保母は3名、保母助手は2名でした。

王子隣保館は保育事業と並行し、「王子学院」(夜間学校)を設立しました。教育を受ける機会を持つことのできない多くの労働者及び青年婦女子

のためのものです。普通科、高等科、 研究科、裁縫及び家事科がありました。

このように、戦前の王子隣保館は社会教育・教養活動と職業教育授産事業を幅広く行っていましたが、戦後は保育事業を通してこの地域に無ければならない存在となっています。



創立50周年記念展覧会(1976年・昭和51年) に出品した子どもたちの作品

お元気ですか

尾久隣保館保育園・王子隣保館保育園 元園長

小泉和子先生

協 一会の長い歴史は、

今年、 先人たちが幾多の苦難を乗り越えて、今があります。 尾久隣保館保育園もそのひとつ。 多くの先輩方がコツコツと積み重ねてきた時間でもあります。 97回目の卒園生を送り出した

今回の「お元気ですか」は長きにわたって園長を務められた 小泉和子先生を尾久隣保館保育園にお訪ねし

その 奮闘記"の一端をお聞きしました。



常に新しいことに チャレンジして32年

ます。

ります。 士、園長として働き続けることにな 以来32年間、 会ったのが尾久隣保館保育園です。 集している区内の保育園を訪ね、出 きたかった小泉先生は、保育士を募 みました。これまで通り保育園で働 先生は、結婚を機に荒川区に移り住 養士として保育園に勤めていた小泉 富山湾に面した自然豊かな町で栄 その多くを尾久で保育

かった。 入職当時、 「何でも話し合って新しい 50名の職員はみんな若

> 活かされることになります。ひとつ 決めたことを実践できた」。と小泉 です。小泉先生は「家庭的でホッと 出して今の広い園庭を確保しました。 という区の提案をお断りし、都道と が園庭です。「隣の公園を園庭に」 果的に小泉先生の〝想い〟が随所に 画が起こり、全てではないものの結 育』です。およそ180名の子ども 遊ばせる保育を目指した『素足保 先生。そのひとつが、外で思い切り 誰からも束縛されずに、自分たちが できる雰囲気にしたかった」と言い ユニークなエントランスのデザイン もうひとつが木目と曲線を活かした 区道の等価交換というプランを引き 校の校庭を借りて行われました。 たちが参加する運動会は近くの中学 今から20年前、建物の建て替え計

した。 植えました。昨年、500個ものレ 先生のところにも園から届けられま モンが実ったとか。その一部が小泉 桑などの「実のなる木」もたくさん 園内にはザクロやレモン、うめ、

第1回放送に尾久隣保館保育園の園 児が出演したとのこと。 のお話しをふたつ。まず、有名なテ レビ番組『はじめてのおつかい』の ここで、小泉先生からとっておき 「面白そう

> りや」だったとか。 生は嬉しそうに、少し誇らしげに話 也選手はここの卒園生だと、小泉先 さらに今、アメリカのシカゴカブス なことは何でもやってみよう」と、 保護者に声をかけて実現しました。 陰に隠れているような「恥ずかしが してくれました。いつもお母さんの で活躍するメジャーリーガー鈴木誠

尾久隣保館保育園の文化 育んできた

今、小泉先生は区の『シルバー大 小泉先生の時代から尾久隣保館保 ことにチャレンジすることができた。・



歴史に触れながら歩く王子の街 いつも新しい出会いが楽しい

渋沢栄一翁ゆかりの 飛鳥山は桜の名所

王子と言えば飛鳥山。江戸時代から庶民の花見の名所として知られるこの飛鳥山から街歩きを始めましょう。折しも満開の桜の下は花見客で埋め尽くされている。ビール片手の外国人の姿も多い。日本独自の文化に触れて、誰もがうれしそう。

飛鳥山と聞けば当協会の当時顧問であり新しく1万円札の顔となった渋沢栄一翁も忘れることができない。晩年を飛鳥山の邸宅で過ごし、王子駅前に工場があった王子製紙を作ったことでも知られる。書庫の青淵文庫など、邸宅の一部や渋沢栄一記念館で功績をしのぶことができる。

飛鳥山を下ると、今は「東京さくらトラム」と呼ばれる都電荒川線が走っている。これも王子の顔のひとつだろう。線路に沿って歩くこと数分。突然、住宅地に現れたレンガ造りの大きな建物。当初紡績工場としてつくられた「旧醸造試験所第一工場」である。国の重要文化財に指定されているという。多くの工場が立ち並んでいた、かつての王子の面影を残す工業遺産です。

歴史が詰まった 奥深い王子の街へ

飛鳥山の裾を流れる「音無親水公園」に歩を進めましょう。ここにも水辺に満開の桜を楽しむ大勢の人たち。その脇の階段を上ったところに、王子という地名の由来とされる「王子神社」の御社が広がっています。森閑としたったたたずまいに心が洗わ







上 お花見でにぎわう飛鳥山公園 **左下** 今に残る渋沢栄一翁の書庫 青淵文庫 右下 飛鳥山公園のふもとを走る東京さくらトラム

れます。大きな銀杏の木の下を下って、 王子稲荷神社を目指します。

途中に王子名物のお店が二つ。ひとつは三代将軍家光公の時代から続く玉子焼きで有名な老舗、「王子扇屋」である。現在は小さなお店ですが、今も買い求める客の行列が絶えることはありません。明治20年創業が石鍋商店」の久寿餅も王子土産として人気だという。

創建が平安時代以前とされる王子稲荷神社。江戸時代の浮世絵師歌川広重の『名所江戸百景』にも描かれている古くからの王子の名所です。有名なのが「王子狐の行列」。大晦日、関東各地から集まった狐たちが狐火を灯して王子稲荷に参拝するという言い伝えにちなんだ行事で、狐のメイクをした人々の行列がお囃子に合わせて神社を目指して歩きます。





左レンガ造りが美しい旧醸造試験所 右桜が彩る音無親水公園





上狐の行列で知られる王子稲荷神社は関東一帯のお稲荷様のトップに 下王子名物の卵焼きで名高い扇屋は三代将軍徳川家光公の世から続く老舗

今年の大晦日、初詣を兼ねて見物し たいですね。

多くの歴史遺産に触れることができる王子は、駅前の再開発が計画されているなど、新しい街へ生まれ変わろうとしています。しかし、これからも王子ならではの"ぬくもり"が消えることはありません。この街で、王子隣保館保育園は新しい100年の時を刻み始めています。

たくちゃんじいじ



おひるね









赤羽北のぞみ保育園模利主任作



現場を支える頼もしい仲間たち

今回の職員紹介は入職2~12年目のフレッシュな方から中堅となった職員のみなさんです。

例によって、お好きな食べ物から苦手なもの、自慢したいことまで、いろいろ聞いちゃいました。

普段は真面目に業務と向き合っているみなさんですが、ちょっぴり素顔が見れて、思わぬ発見があるかも。

ご協力いただいたみなさん、ご協力ありがとうございました。



王子隣保館保育園 保育士 川谷内 美紀

- ●パン(甘いもの) いちご
- 2 カラオケ
- **3**きのこ
- 4 いません
- **⑤**『おばけのかわをむいたら』
- よく食べて、よく寝て、 よく歌うこと
- 一度見た・体験した球技はだいたいできるようになります



八王子隣保館保育園 保育士 **坂本 渉乃佳**

- 牛タン
- 2 野球観戦
- 3虫、おばけ
- 分 永瀬廉くん高橋文哉くん
- **⑤**『はらぺこあおむし』
- るコンサートに行くことといかく寝ること
- ⑦常に全力(by 先輩)



方南隣保館保育園 保育士 中島 史野

- チーズケーキ
- 2 漫画を読むこと
- 9 虫
- 4 長尾謙杜
- **⑤**『おしくらまんじゅう』 『ワンピース』
- 6 お風呂に入る
- **⑦**好き嫌いなく、 何でもよく 食べることです



沙入とちのき保育園 リーダー保育士 **矢吹 美珠穂**

- ●寿司・焼肉
- 2 映画鑑賞
- ❸数字(計算とか)
- 4 ザック・エフロン
- 5 奥田英朗シリーズ(小説)
- 3 海に行く
- ひとよりもたくさん 食べられること



尾久隣保館保育園 保育士 桑名 愛

- ① うどん
- ②空の写真を撮ったり描くこと
- 3 カエル
- 4 仲里依紗
- **6** 『どろぼうたちのよる』
- ⑦ 小学生の時に 「わんぱく相撲」で 4位になったこと



上十条南保育園 保育士 古山 優奈

- 抹茶・甘いもの
- 2 音楽を聴くこと
- ❸ しいたけ
- 4 キスマイ すずしょうと(YouTuber)
- 会 絵本『バムとケロ』シリーズ漫画『桃源暗鬼』
- 6 ひたすら寝る
- 7 姉と仲がいい

\ Question /

- 好きな食べ物
- 2趣味、特技
- 3 苦手なもの
- 4 好きな有名人
- 5 お薦めの絵本、小説漫画など
- 6 心身リフレッシュ術
- 7 ちょっぴり自慢したいこと



板橋区立母子生活支援施設 リーダー少年指導員兼事務員 井出 文香

- 1 ハンバーグ、フルーツ
- 2記帳すること
- 3 提出期限
- 4 内田篤人
- ⑤『学校では教えてくれない 大切なこと』シリーズ
- 卒園式に娘にもらった 赤と黄色とマーブルの チューリップが咲きました



赤羽北のぞみ保育園 保育士 嶋田 莉乃

- **①** ラーメン
- 2 スノーボード
- 9 虫
- 4 go!go!vanillas 牧達弥
- **⑤**『うずらちゃんのかくれんぼ』
- **6**好きなバンドのライブ・フェスに行くこと
- 小さいころに 木梨憲武さんに 抱っこしてもらった!



長寿園 介護職員 馬場恵美

- ●焼肉(肉全般)
- 2 ドライブ
- 包虫
- 4 ドリカム
- **⑤**『スラムダンク』
- 6 孫の顔を見ること
- 7 どこでも眠れること



ハイツ尾竹 母子支援員 古賀 美月

- オムライス
- 2 裁縫
- 3泳ぐこと
- 4 いきものがたり
- **⑤**『ハリーポッター』
- 6睡眠
- 7 ディズニーシーが大好きで、 月に1回以上行っており、 美味しいものを 沢山ご紹介できます



赤羽北さくら荘(浮間包括) 介護職員 安幸

- さくらんぼ、かぼちゃ
- 2 映画鑑賞
- 包虫
- 4 ハリソンフォード
- ⑤『リエゾン -こどものこころ診療所-』
- 子どもとカラオケor 仲の良い友達との飲み会
- **7** 子どもが4月から 中学生になりました



浮間ハイマート 少年指導員兼事務員 平井 隆司

- カレーライス、お寿司
- 2 漫画を読む、スポーツ
- ❸ エスニック料理、ホラー、 落下系アトラクション
- ₫ 志村けん
- **6** SLAM DUNK
- 6よく寝て食べる
- 7 運動が割と得意!



サービスセンター長沼 生活相談員 **栗山 直行**

- 焼き鳥、もつ焼き
- 2 釣り、映画鑑賞
- 3人が多いところ
- 4 ブラッド・ピット
- **⑤**『ドラゴンボール』
- 6旅をする
- **7**船舶免許を持っている







──子ども食堂「ぽかぽか食堂」//

施設の未来と地域の未来を

長寿園 ★★ 八王子隣保館保育園



地域の人たちと 心を通わせる心配り

夕方5時を過ぎたころ、長寿園では普段あまり見かけないお母さんと子どもたち、若いファミリーが三々五々、1階のフロアーに集まってきます。今日は毎月1回、第4金曜日に開かれる長寿園の子ども食堂「ぽかのだろう。職員と笑顔であいさつを交わしています。受付で大人300円、デコレモ100円を払ってにぎやかにデコレーションされた会場へ。みんな思い思いのテーブルについたら、さあ、お待ちかねの"ディナータイム"です。

おいしそうな料理が並べられたテーブルには、エプロンをした職員たちが待っています。お客さんが手にするプレートに、よりをかけて作った料理を手際よく盛ってくれます。「大盛り」と言って照れているお父さん。子どもたちもプレートー杯の料理に大喜びです。今日のメインディッシュはカレーライス。和風大根サラダやスパゲッティサラダなども彩り豊かに並びます。プリンやクッキーなどのデザートもうれしい心づかいです。





1 チョコプリンやシュガースティック。甘いスイーツも用意しました 2 雰囲気作りも大切。手作りでにぎやかに飾ります 3 今日のメインはカレーライス。唐揚げやスパゲティーサラダ付。満腹メニューです 4 ちょっとぎこちないけど、心を込めてサービスします 5 介護や看護、調理、保育。いろいろな部署から駆けつけてくれる仲間たち。お疲れさまです

「いただきま〜す」。美味しい料理を 真ん中に、テーブルでは楽しそうに会 話がはずみます。ご近所や保育園の 仲間同士のテーブルもにぎやかです。

子ども食堂をバラエティーに富ん だ美味しい料理で支える主任調理員 の加藤さんがテーブルを回って声を かけていました。

ゆっくりと、和やかな時間が流れる「ぽかぽか食堂」の開店は5時30分、6時30分の2部制。毎回、合わせて30名ぐらいの「お客様」が集まるとか。評判が評判を呼んで、いつも大入りです。配膳などを担当する職員は、もちるん通常の勤務が終わってから駆け付ける。隣の八王子隣保館保育園からも毎回保育士がサポートしてくれます。閉店は7時30分。地域の皆さんが楽しみにしている長寿園の「ぽかぽか食堂」です。

職員一人ひとりの 知恵と力を合わせて

子ども食堂が始まったのは昨年2月。職員5名で結成した『地域貢献チーム』からの発案でした。コロナ禍で中断していた小学校の子ども食堂を「長寿園で再開できないか」という

地域包括支援センターからの要望もあり、始めることとなりましたが、いざ始めるとなると簡単ではありませんでした。食材の調達はどうするか。どうやって参加者を集めるか。

主任調理員の加藤さんたちは町田にある特別養護老人ホームの子ども食堂を見学するなど、開店に向けた準備を始めました。当初、メニューはカレーライスのみに絞る案が検討されました。しかし、思いのほかたくさんの寄付が集まった。近くの農家が、豆腐屋さん、養鶏場からは豆腐や卵。遠く相模原から毎年まってくれる人もいる。メニューは集まった食材と相談しながら考えるが、「前日まで何が集まるか分からないから大変」と、加藤さん。しかし、いつも8品から9品が用意される。

さて、店名をどうするか。投票箱を 用意し職員全員で投票、利用者にも 選んでもらい決まったのが『ぽかぽ か食堂』。ぽかぽかと心まで温まる 場所に、という思いが込められている のだろうか。毎回、絵の得意な職員が チョークアートの看板を書く。近隣な どに配るチラシも、もちろん職員の手 作り。介護スタッフはアンケートを作 ってお客様の声を次回に活かす。仕事を離れて自由な発想で自分の得意なことを活かせるという、子ども食堂は思いがけない副産物も生みました。

小さな『ぽかぽか食堂』ですが、その他にも大きな実りを生もうとしています。食材の調達を通して地域との新たなつながりができました。もちろん、これまではあまり馴染がなかったかもしれない長寿園・八王子隣保館保育園のことを、知ってもらうきっかけになりました。少しずつだけど職員の顔も知ってもらえた。「ここの調理で働きたい」と言ってくれる高校生もいました。うれしいハプニングです。

『ぽかぽか食堂』を通して「長寿園と八王子隣保館保育園、2つの施設の未来と、地域の未来がつながればいい」と、リーダーの谷さん。菅原施設長は「この活動を続けることで地域の困りごとや課題を引き出していけたらいい」と言います。

社会福祉法人に求められている社会や地域への貢献ですが、この子ども食堂の活動に答えのひとつがあるのではないでしょうか。

板橋区立母子生活支援施設

職員の温かな 心づかいがうれしい

かつて母子寮と言われた「母子生活支援施設」については、何度か『ひだまり』で紹介してきました。 今回紹介する板橋区立母子生活支援施設も 第3号でその仕事内容などについて、 大澤施設長をはじめ職員の皆さんにお話しを聞きました。 今号ではコロナ禍を乗り越えて復活した行事や、 コロナ禍の中でもしっかりと続けてきたイベントなどを紹介し、 母子生活支援施設で暮らす親子に寄り添う、 職員の心配りの一端を感じていただきたいと思います。



復活したバスハイキングや 宿泊キャンプ

日ごろから家族や子どもたちが参加 する数々の行事を企画していますが、 コロナ禍で休止せざるを得ないもの も。しかし、昨年から施設の外で活動 する多くの行事も戻ってきました。

年 1 回実施される「バスハイキング」 はほとんどの家族が参加して、茨城県 の大洗水族館に行きました。 毎回、 行 き先は親子の希望を聞いて決めるとか。毎年夏、2泊3日で行われる「宿泊キャンプ」も復活。昨年は退所した子どもたちも含めて20名が参加しました。埼玉県秩父の入川渓谷のバンガローに泊まって川遊びやナイトハイク、花火などを楽しんだ子どもたち。自分のことは自分で、というルールも学びました。

都内の母子生活支援施設対抗の「ドッジボール」大会も大盛り上がり。

一昨年から乳幼児を持つお母さんを 対象に「お出かけ行事」も始めました。 また、学童行事として行われる銭湯 体験も子どもたちに好評だとか。

アットホームな 雰囲気を大切に

ここには毎日の暮らしがあります。 入所する家族にとっては大切な「家」 です。そんな暮らしを豊かにするもの として、季節の行事も積極的に取り入 れられています。『ゆく年くる年、きっ といい年』は年末の恒例行事。みん なでホールの大掃除をしたあと、庭で 火を起こし、粉からこねて作った「年 越しうどん」を食べます。退所した親 子も招待して行われる「もちつき大 会」も大盛り上がりです。夏は屋台も 出てにぎやかな「夏祭り」。「クリスマ ス会」では職員手作りのクリスマス料 理が並びます。行事のひとつひとつに も職員の皆さんの温かな心づかいが 感じられる、アットホームな施設の毎 日です。

施設が大切にしているのは、在所家族へのサポートはもとより、退所した家族へのアフターケアです。退所した後も「いつでも相談に来てほしい」と、職員が声をそろえて言います。希望する家族には夏休み、冬休み、そして春休みのたびに「しおり」を送って、様々な行事への参加を呼び掛けています。夏祭りや宿泊キャンプには退所後の子どもたちもたくさん参加しました。いつでも「里帰り」をしてくれることを楽しみにしている職員たちです。



元気いっぱい、板橋区立母子生活新施設の仲間たち

地域に根ざす、地域とつながる

みなさんは「地域包括支援センター」をご存知ですか。 北区では「高齢者あんしんセンター」と呼ばれ、 大きく4つの役割があります。 介護予防サービスと権利擁護、総合相談、 そしてケアマネジメント支援などを行っています。 「地域の人から相談されたら一緒に考えていきたい」、 と赤羽北の関口久子センター長は語っています。 しっかりと地域に根ざそうとしている赤羽北と浮間、 両地域包括支援センターの活発な活動をいくつか紹介しましょう。



垣根を越えて新たにつながる 赤北マルシェ

赤羽北さくら荘に隣接するシルバーピア赤羽北駐車場で平成30年から始まった「赤北マルシェ」。障がい者や高齢者、そして子どもたちが交流できる場を作りたかった。さくら荘が用意するテントの下には障がい者の方が就労支援事業所で作った惣菜やクッキー、地域団体の手作り雑貨や布

ぞうり、商店のおにぎり等が並びます。 テント設営から販売まで障がい者の 方と地域の方が協力して行います。地 域の方のつながりで、どら焼きを売る キッチンカーも来てくれました。

初めは就労支援事業所と赤羽北地域包括支援センターとのつながりで始まった赤北マルシェでしたが、マルシェを通して地域の方々との新しいつながりが広がっています。さくら荘の前の児童遊園で毎週木曜日に行われ

る『あおぞらサロン(体操)』は、主任の渡邊愛さんとシルバーピア赤羽北の職員が一緒に担当。毎回多くの高齢者が集まります。赤羽北のぞみ保育園の園児たちも参加、みんなの笑顔が集っています。

地域の集まりを 支援するサロン

地域に住む高齢者の方が集う「場」を提供することも地域包括支援センターの役割です。赤羽北地域包括支援センターでは聾者のためのサロンの他、音楽療法や体操のサロンを行って支援しています。浮間地域包括支援センターでもゲームなどを楽しむ「うきうきサロン」、けん玉を積み木のように楽しむ「健康けん玉サロン」、その他「民謡サロン」、「音楽サロン」などさまざまな支援を行っています。

わんちゃんとのお散歩で 地域を見守り 〈オレンジわんわんパトロール隊〉

「オレンジわんわんパトロール隊」と は、わんちゃんのお散歩をする方とわ んちゃんに隊員になっていただき、高 齢者や地域を見守ってもらう仕組み です。「おやっ」と思う高齢者や「あれ っ」と思う出来事等があれば連絡を …とお願いしています(赤羽北、浮間 両地域包括支援センターで実施)。浮 間地域包括支援センターでは「オレ ンジカフェ(認知症カフェ)浮しまカ フェ」とコラボして、年2回程、隊員の わんちゃんたちと一緒にお散歩等をし ています。このコラボ散歩には地域の 東京ほくと医療生協「生協浮間診療 所」の医師や看護師にも参加してい ただき、荒川の土手や公園まで楽し みながら歩いています。

浮間地域包括支援センターの看護師、安達恭子さんは「こうしたわんちゃんとのお散歩を通して、地域の輪を広げていきたい」と言います。まさしく、地域に根ざす地域包括支援センターならではの取り組みではないでしょうか。

協会施設の一覧

保育園

王子隣保館保育園 方南隣保館保育園 尾久隣保館保育園 八王子隣保館保育園 汐入とちのき保育園 上十条南保育園 赤羽北のぞみ保育園

母子支援施設

ハイツ尾竹 浮間ハイマート 板橋区立母子生活支援施設

高齢者福祉施設

長寿園 (特別養護老人ホーム) 赤羽北さくら荘 (特別養護老人ホーム・デイサービス・地域包括支援センター・訪問介護・居宅介護支援等) サービスセンター長沼 (デイサービス・地域包括支援センター)

発行日

2024年8月

発 行

社会福祉法人 東京都福祉事業協会 〒114-0002 東京都北区王子 2-19-21

Tel: 03-3911-3679 Fax: 03-3911-6498

